

第2次加須市農業振興ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本方針 1 良好な生産基盤の確保と農地の有効活用（農地）

施策 1 優良農地の集積の推進

取組項目 1 農地利用集積の推進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
1・1・1	農地利用集積の推進	1 目標を達成	指標(単位)	農地中間管理機構に貸付けた農地の面積（累計）（ha）								・農地中間管理機構（公益社団法人埼玉県農林公社）を通じた地域の担い手への農地の集積及び集約化がさらに加速するよう取り組んでいく。
	年度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 （目標年）	令和12年度 （目標年）		
	目標				1,925	2,023	2,121	2,218	2,315	2,800		
	実績		1,729	1,911	2,185	2,218	2,362	2,474	2,668			
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新規2地区で集積が完了するとともに、既存41地区の協議会において再配分を実施し、農地の利用集積・集約を進めることにより、担い手農家への集積・集約化を図ることができたため、計画値を超えることができた。 （指標の算式） 目標年における目標面積を基準として按分した面積（R元年度末時点の農振農用地区域内面積の5割：2,800ha）											
	農地利用集積推進事業	1 目標を達成	指標(単位)	農地中間管理事業で集積された面積の割合（％）								・農地中間管理機構（公益社団法人埼玉県農林公社）を通じた地域の担い手への農地の集積及び集約化がさらに加速するよう取り組んでいく。
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 （目標年）	令和12年度 （目標年）	
			目標			26.5	27.8	29.2	30.5	31.8	38.5	
			実績	23.8	26.3	30.0	30.5	32.4	34.0	36.6		
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・既存の協議会において再配分を実施し、農地の利用集積・集約を進めることにより、農地中間管理機構に貸付けた農地面積の増加を図ることができたため、目標値を上回ることができた。 （指標の算式） 農地中間管理事業で集積された面積ha/農業振興地域の面積（R元年度末時点の面積7,272ha）									

施策 2 農業生産基盤の整備

取組項目 1 ほ場の大規模化に向けた支援

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
1・2・1	ほ場の大規模化に向けた支援 ほ場等整備推進事業	1 目標を達成	指標(単位)	農振農用地区域内の田のほ場整備率（30a以上）（％）								・農地中間管理事業実施地区において、ほ場整備を希望する地区が多数ある中で、事業推進方法と市の財政状況とのバランスを考えながら推進する。
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
			目標			50	51	51	52	53	55	
			実績	51	53.9	55.7	56.1	59.1	59.7	62.1		
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・麦倉中・麦倉東地区における区画拡大工事（69ha）が完了したことに加え、農地の畦畔除去等に係る助成（市単）によって、農振農用地区域内の農地について、30a以上のほ場整備を約27a実施したことにより、計画値を上回ることができた。									

取組項目 2 農業水利施設の老朽化に対する保全・整備

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
1・2・2	農業水利施設の老朽化に対する保全・整備 多面的機能支援事業	1 目標を達成	指標(単位)	多面的機能支払交付金補助対象面積 (ha)							・中間管理事業等や土地改良事業等が行われた地域に重点的に制度の周知を行い、新たな活動組織が発足できるよう支援をする。 ・現活動組織に対し、活動面積の増加なども視野に指導・支援を行う。	
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)		令和12年度 (目標年)
			目標			600	600	600	620	620		660
			実績	472	589	589	643	740	792	807		
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・事業に取り組む39団体（加須地域7団体、騎西地域12団体、北川辺地域18団体、大利根地域2団体）に対して適切な指導・支援を行い、事業実施をサポートした。活動組織が1組織解散したが、既存組織が対象面積を増加させたことにより、計画値を超えることができた。									

施策 3 農地の維持・保全

取組項目 1 農地の維持・管理

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
1・3・1	農地の維持・管理 農業委員会 運営事業	1 目標を達成	指標(単位)	権利移動により担い手等に集積された面積 (ha)							・地域の農業委員・農地 利用最適化推進委員及び 事務局等関係者と情報情 報共有することで、速や かに担い手等への農地の あっせんを図る必要があ る。	
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)		令和12年度 (目標年)
			目標			20	20	20	20	20		20
			実績	16	19	18	28	36	24	51		
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・定例総会(1回/毎月)において、農地法第3条(権利移動)126件、第4条(自己転用)26件、 第5条(転用)168件を審査(R7.4.1~R8.3.31) 法令等に基づき遊休農地、違反転用、適正な農地改良の指導。市内の認定農業者や農地所有 適格化法人への集積が行われた。									

取組項目 2 耕作放棄地の解消

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
1・3・2	耕作放棄地の解消	1 目標を達成	指標(単位)	耕作放棄地解消面積（累計）（ ha ）								・遊休農地の再生、有効利用を図るため、県農林振興センター等の関係機関と協力し、補助事業を活用した遊休農地の解消及び担い手農家等への集積（誘導）を検討する。
	年度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)		
	目標				3	6	9	12	15	30		
	実績		4.3	5.3	9.4	13.4	20.4	29.4	31.9			
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 令和8年3月末市内耕作放棄地面積81.1ha ・農家の高齢化等により担い手不足が深刻な状況であり、耕作放棄地を解消し、耕作していく担い手農家を見つけることが難しくなっている。農地法に基づく農地利用状況調査・利用意向調査を行い耕作放棄地（遊休農地）対策を進めるため地域推進会議を開催し、担い手の確保などを検討した。											

第2次加須市農業振興ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本方針 2 「稼ぐ」農業の確立（農業経営）

施策 1 収益性の確保・向上

取組項目 1 高収益化に向けた支援

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
2・1・1	高収益化に向けた支援	1 目標を達成	指標(単位)	中川上流地区営農関係会議の開催回数 (回)								・引き続き、営農関係について検討していく。
	年度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)		
	目標				3	3	3	3	3	3		
	実績		2	3	5	5	3	1	3			
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・3回の営農部会（R7.9.24, R8.1.8, R8.3.25）で営農関係事項の話合いが行われた。											
	中川上流地区高収益作物導入推進事業											

取組項目 2 新たな展開への支援

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
2・1・2	新たな展開 への支援 産業チャレン ジ支援事業	4 大幅に遅 れてい る	指標(単位)	6次産業化商品開発支援件数 (件)								・引き続き、助成制度の 活用を促進するため、周 知を図る。
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
			目標			5	5	5	5	5	5	
			実績	2	2	0	0	2	1	2		
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市内産業の活性化を図るため、市内の農業者が、農作物を活用した商品の研究開発・量産化 費用の助成について、市ホームページで周知を行ったが、支援件数が2件であったため本評価と した。									

施策 2 農産物の高付加価値化

取組項目 1 かぞブランドの育成

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	かぞブランド認定農産物 (品)								
2・2・1	かぞブランドの育成 農産物ブランド育成事業	1 目標を達成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	・市の農産物において、優れた製品があるが、消費者等へその魅力が伝えられていないのが現状である。「かぞブランド認定制度」の活用を図り、関係団体や生産者等と連携し、農産物のブランド化を推進していく。
			目標			22	22	22	24	24	28	
			実績	20	21	23	23	22	24	24		
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市内の優れた農産物等を活用し、市のイメージの向上と地域経済の活性化を目指すため、HP等で認定品を紹介するほか、ふるさと納税返礼品とするなど周知に取り組んだ。また、麦、そば、いちじくの産地化に向けて支援を行うなどブランド化に向けた支援を行ったこともあり、目標値を達成することができた。									

取組項目 2 付加価値となる認証制度の活用に向けた支援

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	(a)								
2・2・2	付加価値となる認証制度の活用に向けた支援 エコ農業推進事業	1 目標を達成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	・環境保全型農業推進事業の更なる周知を行い、化学肥料、化学合成農薬を原則5割以上低減する取り組みと合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動を支援していく。
			目標			1,025	1,030	1,035	1,040	1,045	1,070	
			実績	1,014	1,278	1,253	2,740	2,039	3,599	4,833		
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・加須市環境保全型農業推進協議会（取組経営体 10経営体）への減農薬等の取組に対する補助金、環境保全型農業推進団体（1団体）への環境負荷の少ない防除対策の取組に対する補助金、各地域廃プラスチック協議会（4団体）への廃プラスチック処理費用に対する補助金の交付を行った。地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を取り組む農業者が組織する団体に対して支援を行い、環境保全機能を発揮させた。環境保全型農業交付金制度を促進することにより、取組面積が増加し目標値を上回ることができた。									

取組項目 3 関連企業との連携

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	関連企業との相談件数（累計） (件)								
2・2・3	関連企業との連携 担い手育成 支援事業	1 目標を達成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	・新規に企業が参入する 適地を検討しつつ、県や 関係団体と連携し、企業 参入を推進する。
			目標			1	2	3	4	5	10	
			実績	1	2	3	4	5	5	5		
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新規の相談は無かったが、以前より相談を受けている企業に対して、営農適地の提案や除外・転用への課題について説明を行った。相談実績内訳：令和元年度 1件、令和2年度 1件、令和3年度 1件、令和4年度 1件、令和5年度 1件、令和6年度 0件、令和7年度 0件									

施策 3 農業経営の安定化

取組項目 1 稲作経営への支援

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析									分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)									
2・3・1	稲作経営への支援 経営安定・自給力向上事業	1 目標を達成	指標(単位)	米の作付面積 (ha)								・米の適正価格の維持及び需要に応じた米の生産のため、経営所得安定対策による飼料用米や米粉用米等の作付け促進とともに、引き続き生産コスト低減への支援や米の消費喚起、売れる米のためのPR等を図る。 ・今後の米価下落リスクに備え、稲作農家が持続可能な営農を継続できるよう、引き続き実態に応じた支援策を検討する。
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
			目標			4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	
			実績	4,650	4,650	4,340	4,180	4,230	4,560	4,660		
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・国、県が作成した経営所得安定対策に関する制度案内を農業者に配布し、飼料用米や米粉用米等の作付け促進を行った。また、生産コストの低減に取り組む農業者を支援する国の交付金制度を活用し、実需者ニーズに対応する米づくりの推進を図るとともに、売れる米づくりに向けて加須産米のPRを行った。 令和7年度は主食用米の価格高騰もあり作付面積が増加したため、目標値を上回ることができた。 (指標の算式) 農林水産関係市町村別統計より算出									
		2 概ね達成	指標(単位)	米の収穫量 (t)								・同上
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
			目標			22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	
			実績	23,200	23,900	23,000	21,500	20,900	22,100	21,900		
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・国、県が作成した経営所得安定対策に関する制度案内を農業者に配布し、飼料用米や米粉用米等の作付け促進を行った。また、生産コストの低減に取り組む農業者を支援する国の交付金制度を活用し、実需者ニーズに対応する米づくりの推進を図るとともに、売れる米づくりに向けて加須産米のPRを行った。 前年度よりも収穫量が減少し、目標値の約97%であった。									

前年度の平均収量(%)を算出し、目標値が算出された。
(指標の算式) 農林水産関係市町村別統計より算出

取組項目 2 農業経営の安定化に向けた支援

【評価】は4段階評価(1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている)

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
2・3・2	農業経営の安定化に向けた支援 経営安定・自給力向上事業	4 大幅に遅れている	指標(単位)	経営所得安定対策の国の助成対象人数 (人)								・引き続き各地域水田協 会を通して、農業者へ情報 提供を行い、農業経営の 安定を図る。 ・収入保険制度の周知支 援(市HP、広報紙等)
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
			目標			382	384	386	388	390	400	
			実績	378	311	421	465	407	251	122		
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・国、県が作成した経営所得安定対策に関する制度案内を農業者に配布し、制度の理解を深めるとともに、再生協議会(各地域水田協議会)を通じ、経営所得安定対策制度の加入手続きを行い、制度に位置付けられた各種交付金等を交付した。 主食用米の価格高騰、担い手への農地集積、離農等によって、助成を受ける農業者(水田活用直接支払い交付金97件、産地交付金87件、畑作物の直接支払い交付金48件)が令和6年度よりも減少し、実績が目標値の31.3%となった。									

第2次加須市農業振興ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本方針 3 多様な担い手の育成（担い手）

施策 1 株式会社農業公社への支援

取組項目 1 株式会社農業公社への支援

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
3・1・1	株式会社農業公社への支援 農業公社支援事業	1 目標を達成	指標(単位)	農業公社への農地利用集積面積 (ha)							
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			60	60	60	60	60	60
			実績	49.5	53.5	53.8	54.1	56.5	60.1	64.3	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・法人化から第12期目を終え、事業実施状況は、春作業7.00ha、秋作業20.12ha、維持管理作業経営面積53.10ha、経営面積 水稲30.96ha、小麦 17.77ha、そば・大豆等21.29haであった。水稲、小麦及びそば等の面積が前年度より拡大し収益も順調な伸びで終期を迎えた。農地利用集積面積が前年度より4.2ha増加し、目標値を上回ることができた。								・今後も引き続き、安定的な経営とともに、地域農業におけるセーフティネットの役割を果たすため、必要に応じて必要な支援を行う。 ・維持管理作業の計画的執行

施策 2 地域農業を牽引する人材・経営体への重点的支援

取組項目 1 意欲的に経営を行う農業者を支援する制度の推進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
3・2・1	意欲的に経営を行う農業者を支援する制度の推進 担い手育成支援事業	1 目標を達成	指標(単位)	認定農業者数（4月1日現在） (人)							
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			273	276	279	282	285	300
			実績	270	276	283	287	293	299	292	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・担い手に対し、制度資金の利子補給・利子助成の実施（農業近代化資金借入に対する利子補給実績：上期53件、下期53件）や国の助成制度による生産効率化の取組等を行う際に必要となる農業用機械・施設等導入費用の一部助成の手続きを行い、3経営体が採択されるなどに取り組んだ。 高齢により再認定を受けない方が増えているが、制度資金の利子補給・利子助成や国等の助成制度の周知等に努めたこともあり、新規認定者を確保することができたため、目標値を上回ることができた。								・引き続き、認定農業者に対して、各種助成制度の活用を促進し、育成、確保を図っていく。

取組項目 2 農業経営の法人化の促進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
3・2・2	農業経営の法人化の促進 担い手育成支援事業	1 目標を達成	指標(単位)	認定農業者のうち法人・集落営農数（4月1日現在） (団体)							
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			29	29	30	30	30	31
			実績	28	28	31	34	39	40	46	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・制度資金の利子補給・利子助成の実施（農業近代化資金借入に対する法人の利子補給実績：上期18件、下期20件）や国等の助成制度の周知等を行った。市が認定した法人のほか、広域認定（国認定及び埼玉県認定）を受けた法人が、3経営体のうち法人が2経営体あり、目標値を上回ることができた。								・引き続き、認定農業者に対して、各種助成制度の活用を促進し、育成、確保を図っていく。

施策 3 新たな人材の確保・定着

取組項目 1 新規就農者・農業後継者の確保

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
3・3・1	新規就農者・農業後継者の確保	1 目標を達成	指標(単位)	新規就農認定者数（4月1日現在）（人）								・引き続き、新規就農者の認定に向けた周知や説明を行い、新規就農者の増加を図る。
	年度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)		
	目標				10	10	10	10	10	17		
	実績		10	10	12	13	16	15	15			
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・埼玉県農業大学校と連携し、5月に大学校で就農希望学生との情報交換及び個別相談を行うとともに、市役所窓口等で年間20件の就農相談を受け個別に対応を行った。また、農業志向者に対し国や市の支援制度を通じて農業用機械・施設の導入費用等の支援を行った結果、新たに4件の青年等就農計画の認定に至り、目標値を上回ることができた。											

取組項目 2 新規就農者・農業後継者の育成

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
3・3・2	新規就農者・農業後継者の育成	3 やや遅れている	指標(単位)	加須の農業担い手塾延べ受講者数（累計）（人）								・農業に興味、関心が高い市民を対象に農業担い手塾を開講し新規就農者の確保を図る。
	年度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)		
	目標				105	120	135	150	165	240		
	実績		60	0	70	81	91	101	114			
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・加須の農業担い手塾（全15回）を開講し、13名の塾生に基礎知識と基本技術の講義・実習を行った。受講者が農業に関心が高く、積極的に担い手塾の講義・実習に参加していただいた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は中止、令和3～5年度は募集人数を10人程度としたことから、実績が目標値の69%となった。											

取組項目 3 新規就農者等への包括的支援

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
3 ・ 3 ・ 3	新規就農者等への包括的支援	1 目標を達成	指標(単位)	新規就農支援者数 (人)								・引き続き、助成事業等の新規就農者育成関連事業を実施することで、新規就農者のサポート及び経営安定の支援をする。
	年度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)		
	目標				4	4	4	4	5	5		
	実績		4	2	9	7	8	5	9			
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市の支援制度である農業研修生に対する研修奨励金を交付する研修事業では3人の活用があり、農業機械や設備に対する助成事業では認定新規就農者3人の活用があったほか、国の支援制度である営農開始資金※農業次世代人材投資資金（令和4年度に名称変更）では前年度からの継続者1人、新規採択者1人の活用があり、同じく国の支援制度である経営発展支援事業で1人の活用があった。これらの取組により目標値を上回ることができた。											

施策 4 スマート農業の推進

取組項目 1 スマート農業の推進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
3・4・1	スマート農業の推進 担い手育成支援事業	1 目標を達成	指標(単位)	スマート農業に取り組むモデル経営体の育成件数 (件)							
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			1	1	1	2	2	5
			実績	0	0	1	2	2	2	2	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・北埼玉スマート農業研究会が実施する研修会を通じて農家への情報提供等を行い、スマート農業の普及推進をした。 埼玉県スマート農業普及推進事業モデル経営体として、㈱おおや農園（北川辺地域）がドローンを活用したセンシングと追肥による収量・品質改善の取組を行った。また、㈱はぎはら農園（北川辺地域）がロボットトラクターの自動運転による代かき作業と直進アシスト田植機の同時稼働による作業時間の短縮効果の実証実験を実施した。以上の取組により、目標値を達成することができた。								・労働力不足改善のための省人化、農作業の省力化及び効率化、コスト削減に向けたスマート農業の導入を促進する。 ・ロボットトラクターや自動操舵等を導入し、スマート農業に取り組む経営体の支援を行う。

施策 5 多様な主体が農業を支える環境づくり

取組項目 1 企業の農業参入の推進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
3・5・1	企業の農業参入の推進 担い手育成支援事業	1 目標を達成	指標(単位)	企業参入の相談件数（累計） (件)							
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			1	2	3	4	5	10
			実績	1	2	3	4	5	5	5	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新規の相談は無かったが、以前から相談を受けている企業に対して、営農適地の提案や除外・転用への課題について説明を行った。相談実績内訳：令和元年度 1件、令和2年度 1件、令和3年度 1件、令和4年度 1件、令和5年度 1件、令和6年度 0件、令和7年度 0件								・新規に企業が参入する適地を検討しつつ、県や関係団体と連携し、企業参入を推進する。

取組項目 2 多様な農業人材の発掘

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
3・5・2	多様な農業人材の発掘 新規就農者育成事業	1 目標を達成	指標(単位)	「加須の農業担い手塾」卒業生の就農者数（累計） (人)							
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			12	14	16	18	20	30
			実績	11	11	12	14	17	21	26	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・加須農業担い手塾（第10期）の卒塾生13名のうち5名が新たに就農することとなり、目標値を上回ることができた。なお、卒塾生の中には、すでに就農しているが、農業技術向上のために受講した方もいる。								・引き続き、「加須の農業担い手塾」を実施し、地域農業の新たな担い手の育成を図る。

第2次加須市農業振興ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本方針 4 市民や他産業と協働する「かぞ農業」の実現（地産地消等）

施策 1 地産地消の推進

取組項目 1 直売施設の充実

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
4・1・1	直売施設の 充実 地産地消推 進事業	1 目標を達成	指標(単位)	農産物直売所の地元農産物売上額 (百万円)							
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			315	316	317	318	319	345
			実績	314	313	321	314	309	343	349	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・9月に実施した直売農家めぐりにおいて市内直売所を訪問し、参加者に地元農産物等を紹介するとともに、収益性の高い農業の育成を図るため、直売所の生産者組織に対して定額の支援を行った。 ・道の駅かぞわたらせ農産物直売所、JAほくさい北川辺農産物直売所及び加須未来館農産物直売所における地元農産物の売上額は、令和6年度を上回った。一方で、それ以外のJAほくさい加須直売所、JAほくさい騎西直売所及び道の駅童謡のふる里おおとね農業創生センターでは前年度を下回ったものの、全体の売上額は前年度を上回り、目標値を達成した。								・市内商工業者、消費者団体等と連携しての地産地消の推進方法を検討する。 ・販路拡大のために市イベント等への出店を支援する。

取組項目 2 市内での地場農産物の活用促進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
4・1・2	市内での地 場農産物の 活用促進 地産地消推 進事業	2 概ね達成	指標(単位)	学校給食に提供した地元農産物の割合 (%)							
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			17	18	18	19	19	24.5
			実績	17	18.3	20	21.1	15.8	15.8	17.3	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・学校給食センター等と調整を行い、出荷可能な農産物等の情報共有を行った結果、生産者や販売組織から学校給食における地産地消の取組への協力を得られたため、実績が目標値の91%を達成した。								・引き続き、学校給食センター等と連携を図り、出荷可能な農産物や仕入先（生産者等）の情報共有により、地場産野菜の使用量の拡大を目指す。

施策 2 農業とのふれあい創出

取組項目 1 市民農園の適切な運営

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
4・2・1	市民農園の 適切な運営 市民農園管 理運営事業	2 概ね達成	指標(単位)	市民農園利用区画数 (区画)							
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			340	343	346	349	352	355
			実績	337	339	343	344	348	339	350	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・加須地域及び北川辺地域の市民農園を適正に管理するとともに、グリーンファーム加須における各種講座等の開催や広報紙等を通じて市民農園利用の周知を行った。市民農園として利用可能な355区画（加須地域:233区画・北川辺地域:122区画）のうち、350区画（加須地域:233区画・北川辺地域:117区画）が利用されたため、実績が目標値の99%を達成した。								・市民農園の利用区画数の検討 ・グリーンファーム加須での各種講座等の市民への周知

取組項目 2 農業体験機会の提供

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
4・2・2	農業体験機 会の提供	3 やや遅 れている	指標(単位)	農業体験講座等参加者数 (人)								・引き続き、各種講座の市 民への周知を実施する。
	年度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)		
	目標				650	660	660	670	670	700		
	実績		664	0	0	359	429	371	434			
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・ふれあい料理講座は中止した講座もあるが、概ね計画通りの参加者数であったが、農業体験 講座は天候不順により中止した回があったほか、ふれあい工芸講座は参加者数が計画を大きく 下回ったため結果として目標に達しなかった。											

施策 3 農業・農地の多面的機能の推進と理解促進

取組項目 1 地域活動団体への支援

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No		取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
4・3・1	地域活動団体への支援	多面的機能 支援事業	1 目標を達成	指標(単位)	多面的機能支払交付金活動組織数 (団体)								・ 中間管理事業等や土地改良事業等が行われた地域に重点的に制度の周知を行い、新たな活動組織が発足できるよう支援をする。 ・ 現活動組織に対し、活動面積の増加なども視野に指導・支援を行う。
				年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
				目標			37	37	37	38	38	40	
				実績	32	36	36	37	39	40	39		
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・ 事業に取り組む39団体（加須地域7団体、騎西地域12団体、北川辺地域18団体、大利根地域2団体）に対して適切な指導・支援を行い、サポートした。活動組織が1組織解散したが、活動組織数については目標値を上回ることができた。 なお、既存組織が事業に取り組む対象面積を増加させたことから、活動面積については15haの増加となった。									

取組項目 2 市民理解の促進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
4・3・2	市民理解の 促進 加須の農業 PR事業	2 概ね 達成	指標(単位)	パブリシティでの掲載回数 (回)								・市のホームページ等の 充実やパブリシティへの 情報提供を強化すること で、さらに市内外への加 須市産農産物のPRを図 る。 ・販路拡大や加須市産農 産物のPRのため、青空 市場や物産展への出展を 支援する。 ・事業所支援サイト「は なまるかぞ」の活用の促 進を図る。
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
			目標			16	16	16	16	17	17	
			実績	14	5	4	7	11	8	14		
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・パブリシティを24回実施し、報道機関に14回掲載されたことにより市内農産物やイベント等 について一定のPRを行うことが図れたため、実績が目標値の82%を達成した。									
		2 概ね 達成	指標(単位)	パブリシティへの情報提供回数 (回)								同上
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
			目標			24	24	24	24	25	25	
			実績	22	15	19	20	21	19	24		
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・パブリシティを実施し市内農産物等を市内外にPRしたことにより、実績が目標値の96%を 達成した。また、パブリシティのほか、青空市場の実施や各地域で開催される農業まつり等の 運営に対する支援、市本庁舎玄関ホールに養殖魚を展示し、本市農産物等のPRを行った。									

第2次加須市農業振興ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本方針 4 市民や他産業と協働する「かぞ農業」の実現

施策 4 他産業との連携強化

取組項目 1 商工業との連携

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
4・4・1	商工業との 連携 産業連携推進事業	1 目標を達成	指標(単位)	年間企業訪問件数 (件)							
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			50	50	50	50	50	50
			実績	49	7	37	36	41	50	54	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・以前よりも積極的な企業訪問に努めたことで、目標を達成した。								・引き続き、企業訪問や各種セミナーへの参加を通じて、産業振興に向けた課題について研究を行う。

取組項目 2 教育分野との連携

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
4・4・2	教育分野との 連携 かぞグル× 協働事業	3 やや遅れている	指標(単位)	学校と協働して実施した事業数 (事業)							
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			4	4	4	4	4	4
			実績	4	0	1	3	4	4	2	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・花咲徳栄高等学校食育実践科の農業体験として、市内園芸農家との協働により令和7年5月28日にトマトの収穫体験、令和8年1月15日にきゅうりの収穫体験を実施した。2事業しか実施しておらず本評価とした。								・引き続き、花咲徳栄高等学校食育実践科との協働事業として、産学官連携による加須産農産物を活用した食に関する事業の実施を検討する。